

2月6日（木）友達

四年生が^{どうとく}道徳で、^{ともだち}友達について
^{まな}学び合っていました。^{すこ}少し^{しょうかい}紹介します。

^{しゅじんこう}主人公のヒロコさんのところに、
^え絵はがき^{とど}が届きます。^{てんこう}転校していった
^{ともだち}友達のマサコさんからです。とてもきれ

いな^え絵はがきでしたが、^{おお}大きかったので、^{りょうきん}料^た金^{たり}が足りません
でした。^た足りない^{ぶん}分のお金^{かね}は、^う受け取^とったヒロコさんの家^{いえ}で
^{はら}払うことになります。

「^{りょうきん}料^た金^{たり}が足りなかったこと」を、せっかく^え絵はがきを
^だ出してくれた^{ともだち}友達に^い言^{ほう}った^い方^{ほう}がいいか、^い言^{ほう}わない方^{ほう}がいいか、
ヒロコさんは^{なや}悩^いみます。言^いえば、^{きぶん}気^{わる}分^{わる}が悪くなったり、
^{きず}傷^いついたりするかもしれません。言^いわなければ、また^{おな}同じよ
うに、^{りょうきんぶそく}料^え金^だ不足で^え絵はがき^だを出してしまうかもしれません。

^{けっきよく}結^{しゅじんこう}局、主人公のヒロコさんは、^{りょうきん}料^た金^{たり}が足りなかった」こ
とを、マサコさんに^い言^{ともだち}う^{ともだち}こと^{ともだち}にします。友達だからです。ヒ
ロコさんは「マサコさんなら、^きき^もっと^もわ^もか^もつ^もて^もく^もれ^もる^もは^もず」
と思うのです。「わ^{ともだち}か^{ともだち}つ^{ともだち}て^{ともだち}く^{ともだち}れ^{ともだち}る^{ともだち}は^{ともだち}ず」という^{ともだち}友^{ともだち}達^{ともだち}へ^{ともだち}の^{ともだち}気^{ともだち}持^{ともだち}ち、
^{みな}皆^わさん^わには、^わ分^わか^わりますか。

